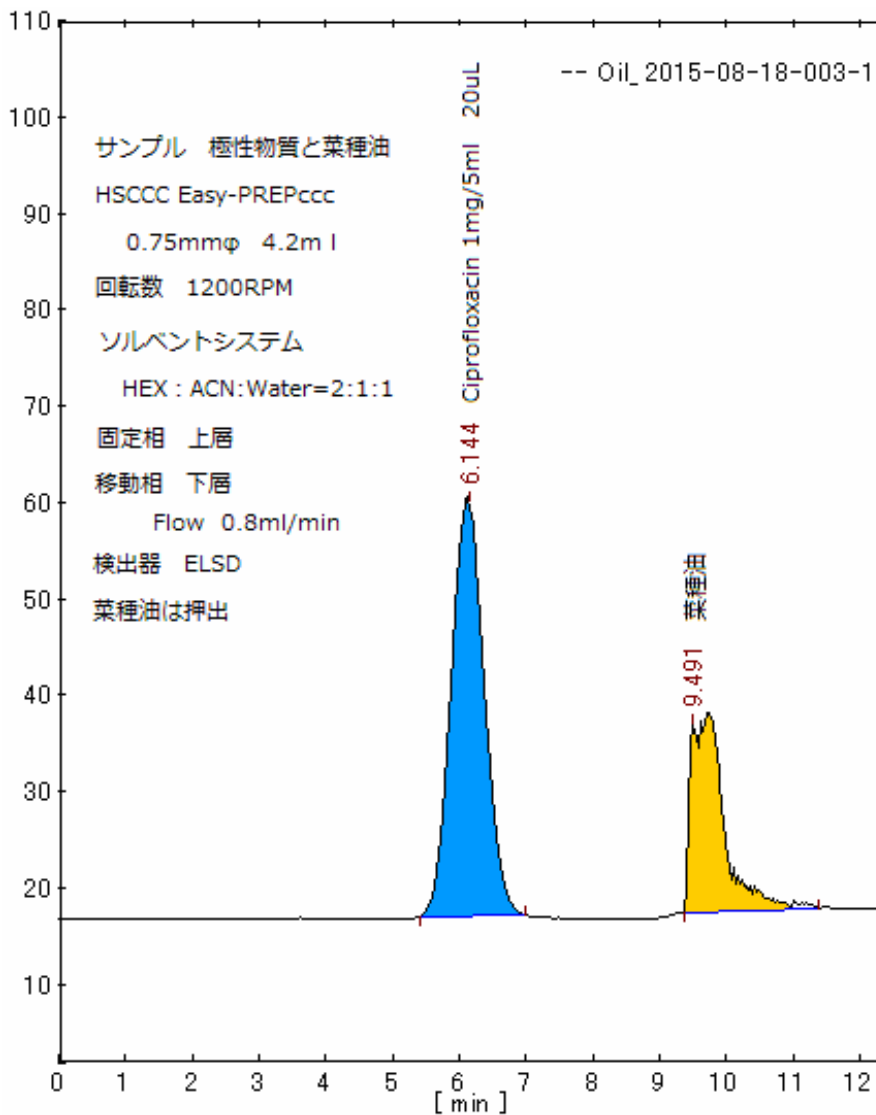


油と極性物質の同時測定

応用例 CCC_SEP-PAK(C18)編

残留農薬、動物医薬品、環境分析等において、分析検体中の油がどれくらい残っているかは大変気になります。固相抽出(C18)で油除去を考えると回収率の低下は避けられません。目的成分と油の残量を同一クロマトにする事で精製過程簡略化への判断材料と思われる。

今回のクロマトでは菜種油は分離途中で移動相を上層に切り替え押出したが、僅かなヘキサンで油を除去できることが確認できる。



今回の使用システム

ポンプ 2台、3方バルブ 1個、インジェクタ 1個

分離装置 HSCCC Easy-PREP 容量4.2ml 1台

検出器 ELSD 1台

データ処理装置 1台